

T-SELECT プロモーションイベント大成功！ 神原ゼミ産学協同プロジェクト 渋谷の街で鬼ごっこのストリートジャック！



▲イベントを終えて大満足のメンバー

商学部の神原理ゼミ(商品学専攻)は、伊藤忠商事と協同で5月17日、おそろいの赤いTシャツを着て鬼ごっこをするというユニークなプロモーションを若者の街・渋谷で展開した。あいにくの小雨にもかかわらず、専大生を含む202人が参加し、大成功をおさめた。(イベントの様子は5月20日付・日本繊維新聞

に掲載された)

このプロジェクトは、Tシャツの主要ターゲット層である『若者(大学生)』に対して、伊藤忠商事が『大学生のアイデア』を生かしたビジネス展開を考えていたところ、『実践的な教材』を探していた神原先生と出会い、スタートした。

目的は、①「T-SELECT」を題材にしたマーケティングリサーチ、②大学生主体のイベントによるプロモーション効果の測定、③大学生のための出会いとコミュニケーションの場の提供の3点。ゼミ生たちは、伊藤忠商事で調査結果やイベントのプランを報告・提案したり、何度も会議を重ねたりして、企業人と対等な立場で奮闘してきました。その体験談とイベント後の感動の声をお届けする。

イベントを終えて ゼミ長 渡邊美奈子

イベントを立案してから3ヶ月間、私たちは怒涛の毎日を送ってきました。春休み返上のミーティング、新学期が始まって授業を休んでまで各自の仕事に奔走した時もありました。途中、計画が暗礁に乗り上げ、ゼミ生同士でいざこざがあった時は、伊藤忠の方々やコンサルタントの方々、ゼミの大黒柱である神原先生から心強い励ましをいただき、当日は参加者の皆さんのおかげでイベントを成功させることができました。

企業と同じ視点を持つと努力し、企業の考え方、社会人としてのマナーや人とのつながりを意識しながら生活した日々で、私たちは学ぶことの楽しさを知りました。「産学協同」の話を読んだあの寒空の日から、私たちは著しく成長したと自負しています。これからは「ゼミ」という固定観念を超えた活動を続けていきたいと思えます。参加してくれた皆さん、指導してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

プロジェクトの経緯 鈴木 慎子

ゼミでは、3月上旬から本格的に動き出し、イベント、渉外、人集め、景品、コンテストチームの5つに分かれて活動してきました。与えられた役割を各自が責任を持って果たすには、少人数の方が意見もまとまりやすくコミュニケーションが取りやすいと考えたからです。しかし、思うように作業が進まなかったり、先生や他のチームとコミュニケーションがうまく取れなかったりして、あわや空中分解の危機もありました。それでも5月に入るとそんな危機もいつの間になくなり、追い込みにかかることができました。春休み中も打ち合わせや作業に追われる日々で、とても忙しかったが、毎日がとても充実していました。他のチームの作業状況を見て、人手が足りないと思ったら、お互いに手伝うなど、ゼミ生が一体となってイベントに向かっているのだな、ということを感じることが出来ました。

初めは自分が何をしたらいいのか分からず、空回りしている時もありましたし、途中で投げ出したいくなる時もありましたが、今になるとそのすべてが素晴らしい私の財産になったと思います。このイベントがゼミ生の結びつきを強めてくれました。

202人が楽しく参加 金子 孝太

小雨で寒い中、会場のアディダス・フットボールパーク渋谷に集まってくれた202人は、

私たちがデザインした真っ赤なTシャツを着て、フライヤー(ゲームの説明書)とヒントメールを見ながら鬼ごっこに参加してくれました。モヤイ像や東急百貨店付近など5カ所のルートを自由に回ってもらい、エリア内を徘徊する鬼を発見したら協賛企業が提供してくれた景品をゲットできるというゲームです。開始から1時間くらいでゴールした人や道に迷って3時間くらいかかった人もいたようです。ゴールした人には豪華景品が当たるクジ引きをしてもらったのですが、クジを引く時は本人も私たちも大興奮でした。終了後、「楽しかった」「もう1回やりたい」という感想をいただき、「参加者は楽しんでくれるのだろうか？」と不安だった私たちは救われたような気がしました。このプロモーションイベントが「成功」と実感した瞬間でした。

私たちは事前に3回、パイロットテストを行い、何度も参加者の流れをシュミレーションし、万全の対策をしてきましたが、トラブルなく無事に終えることができたのは、参加者の皆さんの良識ある行動のおかげだと思っています。

予想以上に学生は成長 商学部助教授 神原 理

最初は「やらされている」という意識が強かったゼミ生たちも、自分たちでTシャツをデザインして発注したり、イベントのプランやコストを考えたり、企業の実務を経験していくうちに自主性が芽生え、目に見えて成長していきました。伊藤忠商事の方々が学生を子ども扱いせず、対等な社会人として接してくれたことが、彼らの潜在的な力を引き出してくれたと感謝しています。仕事に対して真摯な姿勢をもった方々に出会えた…この経験がゼミ生たちの今後の人生の糧となることを願っています。

このプロジェクト以降、T-SELECTのサイトはアクセス数が5倍になるなど、ビジネスの手ごたえを感じた学生たちに、これを超えるインパクトのある授業をどう展開していくか—今はそんなうれしい悩みを感じています。

【神原ゼミホームページ】 <http://www1.isc.senshu-u.ac.jp/~thc0597/>

【T-SELECTホームページ】 <http://yahoo.t-select.com/>

〔6月15日/ニュース専修12面〕